

ダイヤ連合健康保険組合の予算が決まりました

令和7年度の予算案が承認されました。概要は以下の通りです。

一般勘定収支の内訳

※合計を100%にするため、パーセントを調整している箇所があります。

4,415百万円 (29.8%)

別途積立金繰入

健保組合の財産である別途積立金を取り崩して収支のバランスを図っています。

145百万円 (1.0%)

調整保険料

健康保険組合間の財政調整のための別枠保険料として納めていただきます。

財政調整事業交付金他

100百万円 (0.7%)

高額医療費が発生したために、健康保険組合連合会から調整金として交付されます。

その他

23百万円 (0.1%)

収入

14,805百万円

一般保険料

10,122百万円 (68.4%)

組合運営の大切な財源として、事業主と被保険者のみなさまに納めていただきます。

予算編成の基礎
一般勘定

	令和7年度予算	令和6年度実績見込
被保険者数	21,000 人	22,896 人
被扶養者数	13,230 人	15,027 人
平均標準報酬月額	351,238 円	370,342 円
平均賞与支給月数	3.64 月	4.07 月
健康保険料率 (含調整保険料率)	9.00 %	9.00 %

一般勘定の予算

令和7年度の健康保険料率は
昨年度と同じ9.00%のまま据え置きすることになりました

当組合の令和7年度の予算規模は、14,805百万円を見込みました。保険給付費・納付金等の支出を賄うのに必要な実質保険料率は12.48%と計算されますが、健康保険料率は昨年度と同じ9.00%に据え置き、約4,612百万円の別途積立金からの取り崩しで対応する予定です。

健康保険料率9.00%の内訳は、一般保険料率が8.87%、調整保険料率が0.13%で、一般保険料率8.87%の内訳は、健保組合の運営費用に対応する基本保険料率が3.7894%、高齢者医療制度を支える費用に対応する特定保険料率が5.0806%となります。令和7年度は健保連に財政調整事業拠出金として拠出する調整保険料の料率は昨年度と同じ0.13%となりました。

●基礎数値と収入

令和7年度は、被保険者数を21,000人、被扶養者数を13,230人(扶養率0.63)と見込みました。また、平均標準報酬月額は351,238円と見込み、平均賞与支給月数は3.64か月と見積もって予算を策定しました。

●支出

以上の前提のもとで一般保険料率8.87%を適用すると、健保組合の基本財源である一般保険料は、10,122百万円となります。総収入は、別途積立金繰入などが加わり、14,805百万円となります。

保険給付費は、昨年度比412百万円増の7,418百万円と見積もりました。

納付金等は、合計で昨年度比493百万円減の5,800百万円の見込みとなりました。納付金等の内訳は、前期高齢者納付金が昨年度比316百万円減の2,800百万円、後期高齢者支援金が昨年度比177百万円減の3,000百万円です。

保健事業費は、全体で昨年度比77百万円増の801百万円と見込みました。

以上から、支出は、昨年度比135百万円減の14,805百万円となる見込です。

支出

健康保険組合間の財政調整のために健康保険組合連合会へ拠出します。

財政調整事業交付金他

145百万円 (1.0%)

事務費、その他、予備費

641百万円 (4.3%)

保健事業費

801百万円 (5.4%)

特定健診・特定保健指導や、健診費用補助など、みなさまの健康づくりを応援するための費用として支出します。

納付金

5,800百万円 (39.2%)

前期高齢者医療給付のための納付金、後期高齢者医療制度への支援金などへ拠出される納付金は、一般保険料の約58%を占め、財政圧迫の大きな要因となっています。

保険給付費

7,418百万円 (50.1%)

みなさまが病気やけがをしたときの医療費や各種の給付金として支払います。

支出

14,805百万円

介護勘定の予算

令和7年度の介護保険料率は
昨年度と同じ1.80%のまま据え置きすることになりました予算編成の基礎
介護勘定

	令和7年度予算	令和6年度実績見込
介護保険第2号被保険者数	17,357 人	16,085 人
保険料徴収対象被保険者数	12,830 人	12,779 人
平均標準報酬月額	410,834 円	425,693 円
介護保険料率	1.80 %	1.80 %

介護保険の令和7年度の予算規模は、1,470万円となります。

介護勘定予算の前提となる基礎数値は、介護保険の対象加入者数(第2号被保険者数)17,357人、保険料徴収対象被保険者数12,830人、平均標準報酬月額410,834円として予算を策定しました。

介護保険制度において、健康保険組合は保険料徴収代行機関であり単年度収支均衡を基本とすること、介護保険料率を1.80%に据え置いても、介護保険収入が介護納付金を上回る見込みであることから、保険料率を据え置くことになりました。

これにより、介護保険収入の見込みは1,432百万円となります。介護納付金1,400百万円との差額は32百万円のプラスですが、予備費を70百万円見積もったため、最終的な収支差額は38百万円のマイナスとなり、約763百万円の準備金からの取り崩しで対応する予定です。

令和7年度 収入支出予算概要表

一般勘定

収入

科 目	予算額(単位:百万円)
一般保険料	10,122
調整保険料	145
別途積立金繰入	4,415
財政調整事業交付金他	100
その他	23
総収入	14,805

支出

科 目	予算額(単位:百万円)
事務費	210
保険給付費	7,418
納付金	5,800
前期高齢者納付金	2,800
後期高齢者支援金	3,000
保健事業費	801
財政調整事業拠出金他	145
その他	31
予備費	400
総支出	14,805

収支

総収支	0
-----	---

令和7年度 収入支出予算概要表

介護勘定

収入

科 目	予算額(単位:百万円)
介護保険収入	1,432
繰入金	38
収入合計	1,470

支出

科 目	予算額(単位:百万円)
介護納付金	1,400
予備費	70
支出合計	1,470